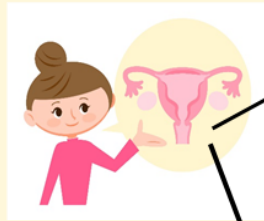


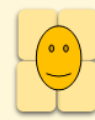
子宮頸部細胞の種類と変化



正常細胞



軽度異形成



中等度異形成



高度異形成



(浸潤)がん



HPV 感染を受けた細胞は異形成という段階を経てがんに進んでいきます。
軽度～中等度異形成では自然に軽快、治癒することもあります。

みえた細胞で判定

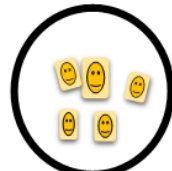
検診で採取した細胞を調べる『子宮頸部細胞診』



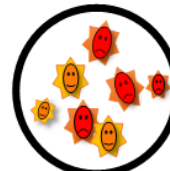
NILM
異常なし/定期的な検診を



ASC-US
要精査/HPV 検査・再検
異形成がいるかもしれない



LSIL
要精査/コルポ組織診
軽度異形成の疑い



HSIL/ASC-H
要精査/コルポ組織診
中等度～高度異形成の疑い



SCC /ASC-H
要精査/コルポ組織診
がんの疑い